

# 野村アクア投資 Aコース／Bコース

## 運用報告書(全体版)

第19期（決算日2017年3月16日）

作成対象期間（2016年9月17日～2017年3月16日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

	Aコース	Bコース
商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2007年8月29日から2022年9月16日（当初、2017年9月19日）までです。	
運用方針	野村アクア マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）受益証券への投資を通じて、主として世界の水関連企業（水資源に関わる技術、製品およびサービスの提供等の事業を行う企業）の株式に投資し、信託財産の成長を目標に積極的な運用を行うことを基本とします。	
	実質組入外貨建て資産については、原則として、現地通貨による為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。	実質組入外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主な投資対象	野村アクア投資 Aコース／Bコース マザーファンド	マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、株式等に直接投資する場合があります。 世界の水関連企業の株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	野村アクア投資 Aコース／Bコース マザーファンド	株式への実質投資割合には制限を設けません。外貨建て資産への実質投資割合には制限を設けません。 株式への投資割合には制限を設けません。外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に原則として、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益等から基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。	

## 野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104  
〈受付時間〉営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

## &lt; Aコース &gt;

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			参考指数		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	(分配落)	税込 分配 金	期 騰 落 率	MSCIワールド・ インデックス(円ヘッジベース)	期 騰 落 率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
15期(2015年3月16日)	12,170	180	3.2	137.07	6.7	93.4	—	968
16期(2015年9月16日)	11,507	100	△4.6	130.33	△4.9	95.4	—	897
17期(2016年3月16日)	11,800	100	3.4	130.32	△0.0	94.9	—	913
18期(2016年9月16日)	12,869	200	10.8	138.15	6.0	93.1	—	991
19期(2017年3月16日)	13,237	200	4.4	154.43	11.8	95.8	—	556

\*基準価額の騰落率は分配金込み。

\*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

\*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

\*参考指数(=MSCIワールド・インデックス(円ヘッジベース))は、MSCI World Index(現地通貨ベース)をもとに、当社が独自にヘッジコストを考慮して、円換算したものです。設定時を100として指数化しております。  
 \*MSCI World Indexは、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。  
 (出所:MSCI、ブルームバーグ)

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率
	騰落率	MSCIワールド・ インデックス(円ヘッジベース)	騰落率			
(期首) 2016年9月16日	円	%		%	%	%
	12,869	—	138.15	—	93.1	—
9月末	13,138	2.1	139.18	0.7	95.8	—
10月末	12,752	△0.9	138.96	0.6	97.9	—
11月末	12,732	△1.1	142.50	3.1	95.9	—
12月末	12,755	△0.9	146.64	6.1	95.5	—
2017年1月末	12,867	△0.0	148.05	7.2	95.5	—
2月末	13,226	2.8	152.58	10.4	95.2	—
(期末) 2017年3月16日	13,437	4.4	154.43	11.8	95.8	—

\*期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

\*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

\*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

## 〈Bコース〉

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			参考指数		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	(分配落)	税込 分配 金	期 騰 落 率	MSCIワールド・ インデックス(円換算ベース)	期 騰 落 率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
15期(2015年3月16日)	11,760	130	9.9	147.91	13.9	95.4	—	11,750
16期(2015年9月16日)	11,241	80	△ 3.7	141.42	△ 4.4	97.1	—	10,367
17期(2016年3月16日)	10,824	60	△ 3.2	133.21	△ 5.8	95.4	—	9,289
18期(2016年9月16日)	10,844	60	0.7	128.51	△ 3.5	93.4	—	8,576
19期(2017年3月16日)	12,163	150	13.5	157.31	22.4	96.1	—	7,994

\*基準価額の騰落率は分配金込み。

\*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

\*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

\*参考指数(=MSCIワールド・インデックス(円換算ベース))は、MSCI World Index(現地通貨ベース)をもとに、当社が独自に円換算したものです。設定時を100として指数化しております。

\*MSCI World Indexは、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(出所:MSCI、ブルームバーグ)

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率
		騰落率	MSCIワールド・ インデックス(円換算ベース)	騰落率		
(期首)	円	%		%	%	%
2016年9月16日	10,844	—	128.51	—	93.4	—
9月末	10,965	1.1	128.35	△ 0.1	96.9	—
10月末	10,884	0.4	131.37	2.2	96.3	—
11月末	11,525	6.3	143.14	11.4	95.5	—
12月末	11,874	9.5	151.82	18.1	96.6	—
2017年1月末	11,843	9.2	151.43	17.8	96.1	—
2月末	12,019	10.8	154.22	20.0	95.9	—
(期末)						
2017年3月16日	12,313	13.5	157.31	22.4	96.1	—

\*期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

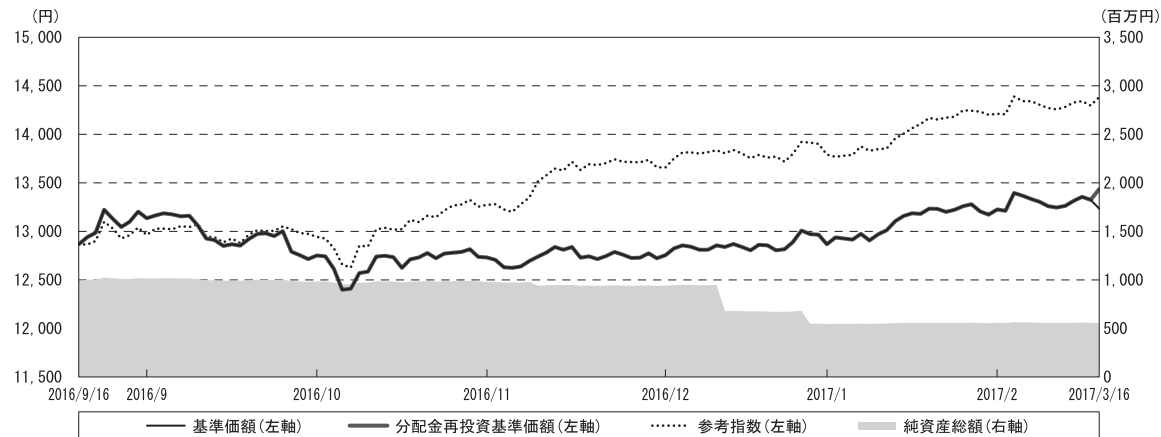
\*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

\*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

## < Aコース >

### ◎運用経過

#### ○期中の基準価額等の推移



期首：12,869円

期末：13,237円(既払分配金(税込み)：200円)

騰落率：4.4%(分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2016年9月16日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、MSCIワールド・インデックス(円ヘッジベース)です。作成期首(2016年9月16日)の値が基準価額と同一となるように計算しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

#### ○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首12,869円から期末13,237円となりました。

- ・2016年10月、7－9月期決算が始まり、米国企業業績への警戒感が台頭したこと。また、米国大統領選を巡る不透明感が浮上したことを背景に株式市場が下落したこと。
- ・2017年2月、トランプ新政権の経済政策への期待や、ユーロ安による欧州企業の収益回復への期待などを背景に世界の株式市場が上昇したこと。

## &lt;Aコース&gt;

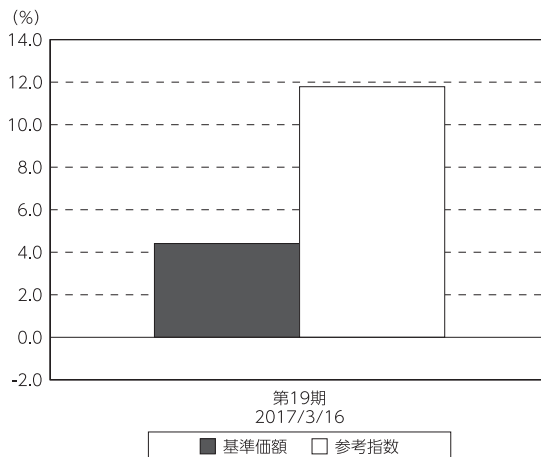
## ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているMSCIワールド・インデックス（円ヘッジベース）の11.8%の上昇に対し、基準価額は4.4%の上昇となりました。主な差異要因は、業種配分効果において、公益事業セクターのオーバーウェイト（参考指数に比べ高めの投資比率）や金融セクターのアンダーウェイト（参考指数に比べ低めの投資比率）などがマイナスとなったこと。また、資本財・サービスや公益事業セクターの銘柄選択効果などがマイナスに影響しました。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 参考指数は、MSCIワールド・インデックス（円ヘッジベース）です。

## ◎分配金

基準価額水準などを勘案し、1万口当たり200円の収益分配を行いました。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

## ○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項目	第19期
	2016年9月17日～ 2017年3月16日
当期分配金	200
(対基準価額比率)	1.488%
当期の収益	200
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	3,500

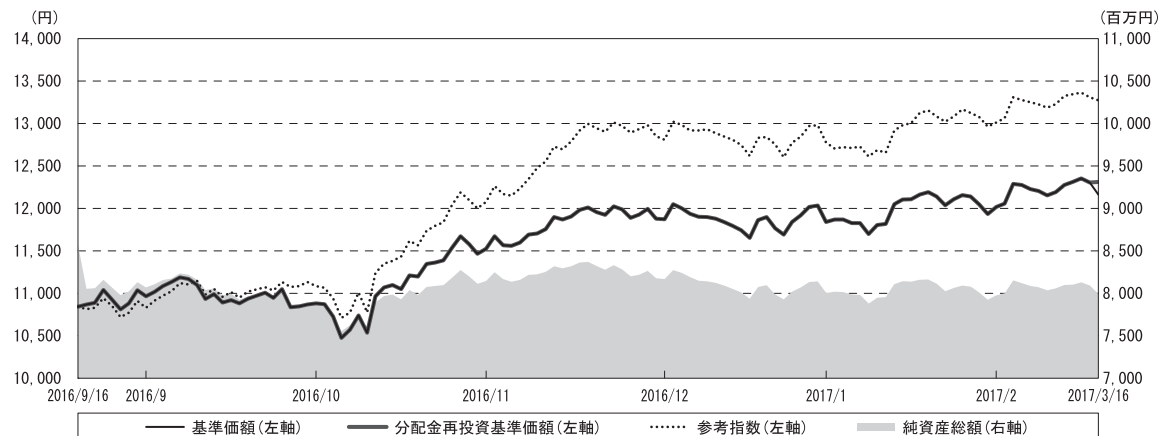
(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## &lt; Bコース &gt;

## ◎運用経過

## ○期中の基準価額等の推移



期 首：10,844円

期 末：12,163円(既払分配金(税込み)：150円)

騰落率： 13.5%(分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2016年9月16日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 参考指数は、MSCIワールド・インデックス(円換算ベース)です。作成期首(2016年9月16日)の値が基準価額と同一となるように計算しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

## ○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首10,844円から期末12,163円となりました。

- ・2016年10月、7-9月期決算が始まり、米国企業業績への警戒感が台頭したこと。また、米国大統領選を巡る不透明感が浮上したことを背景に株式市場が下落したこと。
- ・2017年2月、トランプ新政権の経済政策への期待や、ユーロ安による欧州企業の収益回復への期待などを背景に世界の株式市場が上昇したこと。
- ・為替については、2016年11月から12月にかけて、米大統領選において共和党候補のトランプ氏が勝利し、同氏の掲げる経済政策が注目されたことやFRB(米連邦準備制度理事会)による利上げ観測の高まりを背景に日米金利差の拡大観測が強まる中、主要通貨に対して大幅に円安となったこと。

## &lt;Bコース&gt;

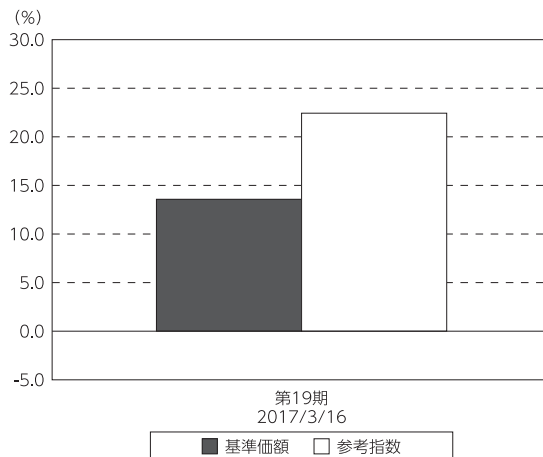
## ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているMSCIワールド・インデックス（円換算ベース）の22.4%の上昇に対し、基準価額は13.5%の上昇となりました。主な差異要因は、業種配分効果において、公益事業セクターのオーバーウェイト（参考指数に比べ高めの投資比率）や金融セクターのアンダーウェイト（参考指数に比べ低めの投資比率）などがマイナスとなったこと。また、資本財・サービスや公益事業セクターの銘柄選択効果などがマイナスに影響しました。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 参考指数は、MSCIワールド・インデックス（円換算ベース）です。

## ◎分配金

基準価額水準などを勘案し、1万口当り150円の収益分配を行いました。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

## ○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第19期
	2016年9月17日～ 2017年3月16日
当期分配金	150
(対基準価額比率)	1.218%
当期の収益	150
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,265

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## <Aコース／Bコース>

### ○投資環境

期中の世界株式市場は、米国や欧州をはじめとする中央銀行の金融政策や米国の大統領選挙、英国のEU（欧州連合）離脱を問う国民投票、中国の景気動向などに左右される展開となり、期を通じて上昇となりました。

### ○当ファンドのポートフォリオ

[野村アクア投資 Aコース] および [野村アクア投資 Bコース] は、主要投資対象である [野村アクア マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れました。

#### [野村アクア マザーファンド]

##### ・株式組入比率

期を通じて概ね高位を維持しました。

##### ・期中の主な動き

- (1) 主として世界の水関連企業（水資源に関わる技術、製品およびサービスの提供等の事業を行う企業）の株式を実質的な主要投資対象として参りました。
- (2) イギリスの暖房配水器具販売会社や米国の家庭・セキュリティ製品メーカーなどの株式を新規に購入した一方で、米国の包装関連会社やイギリスのフロー制御機器メーカーなどの株式を全売却しました。
- (3) 分野別で見ると、水質・分析や水処理の分野については強気の見通しを持っている一方で、米国の水道関連分野については慎重な見方を保持しています。

#### [野村アクア投資 Aコース]

##### ・株式組入比率

実質株式組入比率は、期を通じて概ね高位を維持しました。

##### ・為替ヘッジ

当ファンドの運用の基本方針に従い、実質外貨建て資産に対して対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。

#### [野村アクア投資 Bコース]

##### ・株式組入比率

実質株式組入比率は、期を通じて概ね高位を維持しました。

##### ・為替ヘッジ

当ファンドの運用の基本方針に従い、為替ヘッジを行いませんでした。



## < Aコース／Bコース >

### ◎今後の運用方針

#### [野村アクア マザーファンド]

当ファンドは世界の水関連企業への投資を行うことによって、世界の株式市場を上回る運用成果を獲得することを目標としています。過去、水への需要は人口増加を上回るペースで拡大し、その結果、水関連産業は世界のGDP（国内総生産）の伸びを上回るペースでの成長を遂げてきました。

水関連産業は、人口増加、都市化、欧米のインフラの老朽化、アジアの新規インフラ、気候変動、水質や衛生面の向上に対するニーズなど、数々のマクロ要因をその成長の原動力にしています。その一方で、水関連産業は、高い成長率が見込めるにもかかわらず、バリュエーション（投資価値評価）の観点からは割安な水準におかれており、中長期的な投資の良好な機会であると考えます。

引き続き世界の水関連企業（水資源に関わる技術、製品およびサービスの提供等の事業を行う企業）の株式を主要投資対象とし、銘柄選定にあたっては、高い成長が期待される水に関する投資分野に沿った事業を行う企業の中から、ボトムアップでの調査・分析により、サステナビリティ<sup>※</sup>、バリュエーション、流動性等の観点を踏まえて銘柄を選定する方針を継続します。

※サステナビリティとは、持続的な成長・発展を意味し、当ファンドにおいては、社会全体の持続的な成長・発展への寄与を経済的側面、環境的側面、社会的側面の観点から評価します。

当ファンドでは、水処理や建設・エンジニアリング関連などの景気敏感銘柄と、施設運営や水質・分析などのディフェンシブ（景気に左右されにくい）銘柄にバランスよく投資していく方針です。

#### [野村アクア投資 Aコース]

主要投資対象である[野村アクア マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建て資産については為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを目指します。

#### [野村アクア投資 Bコース]

主要投資対象である[野村アクア マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建て資産については為替ヘッジを行わない方針です。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしく願いいたします。

## &lt;Aコース&gt;

## ○1万口当たりの費用明細

(2016年9月17日～2017年3月16日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	111	0.857	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	( 55)	(0.428)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	( 48)	(0.375)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	( 7)	(0.054)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	6	0.044	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	( 6)	(0.044)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	4	0.034	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	( 4)	(0.034)	
(d) そ の 他 費 用	4	0.032	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	( 4)	(0.029)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	( 0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	( 0)	(0.001)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	125	0.967	
期中の平均基準価額は、12,911円です。			

\* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

\* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

\* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## &lt; Aコース &gt;

## ○売買及び取引の状況

(2016年9月17日～2017年3月16日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
野村アクア マザーファンド	千口 103,500	千円 146,100	千口 488,261	千円 694,100

\*単位未満は切り捨て。

## ○株式売買比率

(2016年9月17日～2017年3月16日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期	
	野村アクア マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	6,816,214千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	8,539,158千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.79	

\* (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

(2016年9月17日～2017年3月16日)

## 利害関係人との取引状況

## &lt; 野村アクア投資 Aコース &gt;

区分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人との取引状況 B	B/A		うち利害関係人との取引状況 D	D/C	
為替先物取引	百万円 1,995	百万円 153	% 7.7	百万円 1,518	百万円 50	% 3.3

## &lt; 野村アクア マザーファンド &gt;

区分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人との取引状況 B	B/A		うち利害関係人との取引状況 D	D/C	
株式	百万円 2,469	百万円 —	% —	百万円 4,346	百万円 82	% 1.9
為替直物取引	1,099	319	29.0	3,165	1,531	48.4

平均保有割合 9.1%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

## < Aコース >

### 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	368千円
うち利害関係人への支払額 (B)	7千円
(B) / (A)	2.1%

\* 売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村證券株式会社、野村信託銀行です。

## ○組入資産の明細

(2017年3月16日現在)

### 親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)		
	口 数	口 数	評 価 額
野村アクア マザーファンド	千口 754,733	千口 369,972	千円 550,815

\* 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

## ○投資信託財産の構成

(2017年3月16日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
野村アクア マザーファンド	千円 550,815	% 96.0
コール・ローン等、その他	22,962	4.0
投資信託財産総額	573,777	100.0

\* 金額の単位未満は切り捨て。

\* 野村アクア マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産 (7,813,758千円) の投資信託財産総額 (8,699,972千円) に対する比率は89.8%です。

\* 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買取相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=113.28円、1カナダドル=85.24円、1英ポンド=139.13円、1スイスフラン=113.38円、1スウェーデンクローナ=12.77円、1デンマーククローネ=16.36円、1ユーロ=121.64円、1香港ドル=14.59円、1シンガポールドル=80.75円、1リンギ=25.56円、1フィリピンペソ=2.25円、1ウォン=0.1004円、1豪ドル=87.09円、1メキシコペソ=5.89円、1レアル=36.49円。

## &lt; Aコース &gt;

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2017年3月16日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,065,131,948
コール・ローン等	5,404,572
野村アクア マザーファンド(評価額)	550,815,652
未収入金	508,911,724
(B) 負債	508,992,667
未払金	493,285,090
未払収益分配金	8,403,079
未払解約金	68,273
未払信託報酬	7,222,739
未払利息	6
その他未払費用	13,480
(C) 純資産総額(A-B)	556,139,281
元本	420,153,993
次期繰越損益金	135,985,288
(D) 受益権総口数	420,153,993口
1万口当たり基準価額(C/D)	13,237円

(注) 期首元本額は770,203,931円、期中追加設定元本額は7,519,726円、期中一部解約元本額は357,569,664円、1口当たり純資産額は1,3237円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額22,053,446円。(野村アクア マザーファンド)

## ○損益の状況 (2016年9月17日～2017年3月16日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 2,556
支払利息	△ 2,556
(B) 有価証券売買損益	30,308,121
売買益	132,677,297
売買損	△102,369,176
(C) 信託報酬等	△ 7,247,019
(D) 当期繰越損益金(A+B+C)	23,058,546
(E) 前期繰越損益金	120,567,900
(F) 追加信託差損益金	761,921
(配当等相当額)	( 11,863,996)
(売買損益相当額)	(△ 11,102,075)
(G) 計(D+E+F)	144,388,367
(H) 収益分配金	△ 8,403,079
次期繰越損益金(G+H)	135,985,288
追加信託差損益金	761,921
(配当等相当額)	( 11,871,705)
(売買損益相当額)	(△ 11,109,784)
分配準備積立金	135,223,367

\* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

\* 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

\* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2016年9月17日～2017年3月16日)は以下の通りです。

項 目	当 期
	2016年9月17日～ 2017年3月16日
a. 配当等収益(経費控除後)	2,037,672円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	21,020,874円
c. 信託約款に定める収益調整金	11,871,705円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	120,567,900円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	155,498,151円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	3,700円
g. 分配金	8,403,079円
h. 分配金(1万口当たり)	200円

## &lt; Aコース &gt;

## ○分配金のお知らせ

---

1 万口当たり分配金 (税込み)	200円
------------------	------

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合

分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合

分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合

分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

## ○お知らせ

---

該当事項はございません。

## &lt;Bコース&gt;

## ○1万口当たりの費用明細

(2016年9月17日～2017年3月16日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	99	0.857	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	( 49 )	( 0.428 )	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	( 43 )	( 0.375 )	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	( 6 )	( 0.054 )	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	5	0.045	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	( 5 )	( 0.045 )	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	4	0.035	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	( 4 )	( 0.035 )	
(d) そ の 他 費 用	3	0.029	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	( 3 )	( 0.028 )	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	( 0 )	( 0.002 )	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	( 0 )	( 0.000 )	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	111	0.966	
期中の平均基準価額は、11,518円です。			

\* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

\* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

\* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## &lt;Bコース&gt;

## ○売買及び取引の状況

(2016年9月17日～2017年3月16日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
野村アクア マザーファンド	千口 57,715	千円 76,200	千口 1,275,327	千円 1,743,100

\*単位未満は切り捨て。

## ○株式売買比率

(2016年9月17日～2017年3月16日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期	
	野村アクア マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	6,816,214千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	8,539,158千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.79	

\* (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

(2016年9月17日～2017年3月16日)

## 利害関係人との取引状況

## &lt;野村アクア投資 Bコース&gt;

該当事項はございません。

## &lt;野村アクア マザーファンド&gt;

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
株式	百万円 2,469	百万円 -	% -	百万円 4,346	百万円 82	% 1.9
為替直物取引	1,099	319	29.0	3,165	1,531	48.4

平均保有割合 90.9%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。



## &lt;Bコース&gt;

## 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	3,628千円
うち利害関係人への支払額 (B)	63千円
(B) / (A)	1.8%

\*売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村證券株式会社、野村信託銀行です。

## ○組入資産の明細

(2017年3月16日現在)

## 親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)		
	口 数	口 数	評 価 額
野村アクア マザーファンド	千口 6,553,495	千口 5,335,883	千円 7,944,063

\*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

## ○投資信託財産の構成

(2017年3月16日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
野村アクア マザーファンド	千円 7,944,063	% 97.2
コール・ローン等、その他	228,083	2.8
投資信託財産総額	8,172,146	100.0

\*金額の単位未満は切り捨て。

\*野村アクア マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産 (7,813,758千円) の投資信託財産総額 (8,699,972千円) に対する比率は89.8%です。

\*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買取相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=113.28円、1カナダドル=85.24円、1英ポンド=139.13円、1スイスフラン=113.38円、1スウェーデンクローナ=12.77円、1デンマーククローネ=16.36円、1ユーロ=121.64円、1香港ドル=14.59円、1シンガポールドル=80.75円、1リンギ=25.56円、1フィリピンペソ=2.25円、1ウォン=0.1004円、1豪ドル=87.09円、1メキシコペソ=5.89円、1レアル=36.49円。

## &lt;Bコース&gt;

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2017年3月16日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	8,172,146,153
コール・ローン等	60,082,812
野村アクア マザーファンド(評価額)	7,944,063,341
未収入金	168,000,000
(B) 負債	177,758,399
未払収益分配金	98,594,552
未払解約金	9,684,338
未払信託報酬	69,349,465
未払利息	76
その他未払費用	129,968
(C) 純資産総額(A-B)	7,994,387,754
元本	6,572,970,180
次期繰越損益金	1,421,417,574
(D) 受益権総口数	6,572,970,180口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,163円

(注) 期首元本額は7,908,763,552円、期中追加設定元本額は61,434,430円、期中一部解約元本額は1,397,227,802円、1口当たり純資産額は1,2163円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額22,053,446円。(野村アクア マザーファンド)

## ○損益の状況 (2016年9月17日～2017年3月16日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 16,725
支払利息	△ 16,725
(B) 有価証券売買損益	1,029,998,040
売買益	1,092,253,757
売買損	△ 62,255,717
(C) 信託報酬等	△ 69,479,433
(D) 当期損益金(A+B+C)	960,501,882
(E) 前期繰越損益金	492,092,480
(F) 追加信託差損益金	67,417,764
(配当等相当額)	( 135,103,893)
(売買損益相当額)	(△ 67,686,129)
(G) 計(D+E+F)	1,520,012,126
(H) 収益分配金	△ 98,594,552
次期繰越損益金(G+H)	1,421,417,574
追加信託差損益金	67,417,764
(配当等相当額)	( 135,153,391)
(売買損益相当額)	(△ 67,735,627)
分配準備積立金	1,353,999,810

\* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

\* 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

\* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2016年9月17日～2017年3月16日)は以下の通りです。

項 目	当 期
	2016年9月17日～ 2017年3月16日
a. 配当等収益(経費控除後)	33,011,918円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	374,737,006円
c. 信託約款に定める収益調整金	135,153,391円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	1,044,845,438円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	1,587,747,753円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	2,415円
g. 分配金	98,594,552円
h. 分配金(1万口当たり)	150円

## &lt;Bコース&gt;

## ○分配金のお知らせ

---

1 万円当たり分配金 (税込み)	150円
------------------	------

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合

分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合

分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合

分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

## ○お知らせ

---

該当事項はございません。

# 野村アクア マザーファンド

## 運用報告書

第10期（決算日2017年3月16日）

作成対象期間（2016年3月17日～2017年3月16日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主として、世界の水関連企業（水資源に関わる技術、製品およびサービスの提供等の事業を行う企業）の株式に投資し、信託財産の成長を目標に積極的な運用を行うことを基本とします。株式への投資にあたっては、高い成長が期待される水に関する投資分野に沿った事業を行う企業の中から、ボトムアップでの調査・分析により、サステナビリティ、バリュエーション、流動性等の観点を踏まえて銘柄を選定し、ポートフォリオを構築します。株式の組入比率は、高位（フルインベストメント）を基本とします。外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主な投資対象	世界の水関連企業の株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。

## 野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋 1-12-1

<http://www.nomura-am.co.jp/>

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	騰落	中率	MSCIワールド・インデックス(円換算ベース)	騰落中率			
	円	%		%	%	%	百万円
6期(2013年3月18日)	8,467	31.4	91.98	27.9	93.3	—	14,836
7期(2014年3月17日)	11,162	31.8	114.98	25.0	97.8	—	15,087
8期(2015年3月16日)	13,494	20.9	147.91	28.6	96.3	—	12,579
9期(2016年3月16日)	12,790	△ 5.2	133.21	△ 9.9	96.2	—	10,110
10期(2017年3月16日)	14,888	16.4	157.31	18.1	96.7	—	8,494

\*株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

\*参考指数(=MSCIワールド・インデックス(円換算ベース))は、MSCI World Index(現地通貨ベース)をもとに、当社が独自に円換算したものです。設定時を100として指数化しております。  
 \*MSCI World Indexは、MSCIが発行した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。  
 (出所:MSCI、ブルームバーグ)

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率
	騰落	率	MSCIワールド・インデックス(円換算ベース)	騰落率		
(期首) 2016年3月16日	円	%		%	%	%
	12,790	—	133.21	—	96.2	—
3月末	13,239	3.5	135.41	1.7	95.9	—
4月末	13,283	3.9	134.85	1.2	95.5	—
5月末	13,643	6.7	136.61	2.6	96.5	—
6月末	12,428	△ 2.8	123.57	△ 7.2	97.8	—
7月末	13,346	4.3	131.41	△ 1.4	96.5	—
8月末	13,197	3.2	131.22	△ 1.5	96.1	—
9月末	13,152	2.8	128.35	△ 3.6	97.6	—
10月末	13,072	2.2	131.37	△ 1.4	97.0	—
11月末	13,866	8.4	143.14	7.5	95.9	—
12月末	14,308	11.9	151.82	14.0	96.9	—
2017年1月末	14,291	11.7	151.43	13.7	96.4	—
2月末	14,523	13.5	154.22	15.8	96.1	—
(期末) 2017年3月16日	円	%		%	%	%
	14,888	16.4	157.31	18.1	96.7	—

\*騰落率は期首比です。

\*株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

## ◎運用経過

### ○期中の基準価額等の推移



### ○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首12,790円から期末14,888円となりました。

- 2016年3月、原油価格の続伸やFOMC（米連邦公開市場委員会）声明で年内利上げペースの減速が示唆されたことなどを背景に株式市場が上昇したこと。
- 6月下旬、英国のEU（欧州連合）離脱を問う国民投票の結果、離脱派が勝利し、投資家心理の悪化などから市場が下落したこと。英国のEU離脱問題に対する不透明感が高まる中、リスク回避姿勢が強まったことなどから、主要通貨に対して大幅に円高となったこと。
- 7月、主要国・地域の中央銀行による政策対応への期待や、4－6月期の米国企業決算が総じて市場予想を上回ったことなどから、株式市場が上昇したこと。
- 10月、7－9月期決算が始まり、米国企業業績への警戒感が台頭したこと。また、米国大統領選を巡る不透明感が浮上したことを背景に株式市場が下落したこと。
- 11月から12月にかけて、米国大統領選において共和党候補のトランプ氏が勝利し、同氏の掲げる経済政策が注目されたことやFRB（米連邦準備制度理事会）による利上げ観測の高まりを背景に日米金利差の拡大観測が強まる中、主要通貨に対して大幅に円安となったこと。

- 2017年2月、トランプ新政権の経済政策への期待や、ユーロ安による欧州企業の収益回復への期待などを背景に世界の株式市場が上昇したこと。

## ○当ファンドのポートフォリオ

### ・株式組入比率

期を通じて概ね高位を維持しました。

### ・期中の主な動き

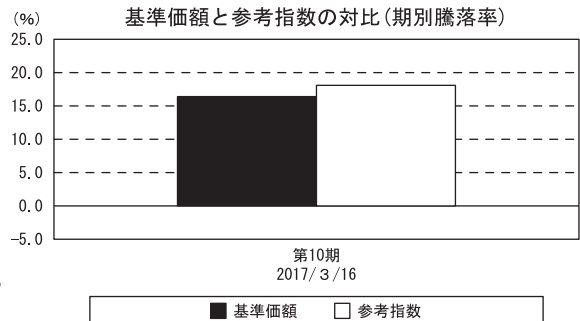
- (1) 主として世界の水関連企業（水資源に関わる技術、製品およびサービスの提供等の事業を行う企業）の株式を実質的な主要投資対象として参りました。
- (2) イギリスの暖房配水器具販売会社や米国の家庭・セキュリティ製品メーカーなどの株式を新規に購入した一方で、米国の包装関連会社やイギリスのフロー制御機器メーカーなどの株式を全売却しました。
- (3) 分野別で見ると、水質・分析や水処理の分野については強気の見通しを持っている一方で、米国の水道関連分野については慎重な見方を保持しています。

## ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているMSCIワールド・インデックス（円換算ベース）の18.1%の上昇に対し、基準価額は16.4%の上昇となりました。主な差異要因は、業種配分効果において、公益事業セクターのオーバーウェイト（参考指数に比べ高めの投資比率）や金融セクターのアンダーウェイト（参考指数に比べ低めの投資比率）などがマイナスに影響しました。



(注) 参考指数は、MSCIワールド・インデックス（円換算ベース）です。

## ◎今後の運用方針

当ファンドは世界の水関連企業への投資を行うことによって、世界の株式市場を上回る運用成果を獲得することを目標としています。過去、水への需要は人口増加を上回るペースで拡大し、その結果、水関連産業は世界のGDP（国内総生産）の伸びを上回るペースでの成長を遂げてきました。

水関連産業は、人口増加、都市化、欧米のインフラの老朽化、アジアの新規インフラ、気候変動、水質や衛生面の向上に対するニーズなど、数々のマクロ要因をその成長の原動力にしています。その一方で、水関連産業は、高い成長率が見込めるにもかかわらず、バリュエーション（投資価値評価）の観点からは割安な水準におかれており、中長期的な投資の良好な機会であると考えます。

引き続き世界の水関連企業（水資源に関わる技術、製品およびサービスの提供等の事業を行う企業）の株式を主要投資対象とし、銘柄選定にあたっては、高い成長が期待される水に関する投資分野に沿った事業を行う企業の中から、ボトムアップでの調査・分析により、サステナビリティ<sup>※</sup>、バリュエーション、流動性等の観点を踏まえて銘柄を選定する方針を継続します。

※サステナビリティとは、持続的な成長・発展を意味し、当ファンドにおいては、社会全体の持続的な成長・発展への寄与を経済的側面、環境的側面、社会的側面の観点から評価します。

当ファンドでは、水処理や建設・エンジニアリング関連などの景気敏感銘柄と、施設運営や水質・分析などのディフェンシブ（景気に左右されにくい）銘柄にバランスよく投資していく方針です。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしく願いいたします。



## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2016年3月17日～2017年3月16日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 ( 株 式 )	円 9 ( 9 )	% 0.070 (0.070)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 ( 株 式 )	6 ( 6 )	0.044 (0.044)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 ) ( そ の 他 )	6 ( 6 ) ( 0 )	0.048 (0.048) (0.000)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数  保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用  信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	21	0.162	
期中の平均基準価額は、13,529円です。			

\*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2016年3月17日～2017年3月16日)

## 株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国 内	上場	千株	千円	千株	千円
		41 (△ 196)	94,838 ( - )	128	303,638
外 国	アメリカ	百株 2,627 ( 504)	千米ドル 17,617 ( - )	百株 7,228	千米ドル 37,021
	カナダ	77	千カナダドル 239	137	千カナダドル 456
	イギリス	2,850	千英ポンド 3,391	5,940	千英ポンド 6,039
	スイス	109	千スイスフラン 2,601	130	千スイスフラン 3,644
	スウェーデン	1,161 ( 125)	千スウェーデンクローナ 6,956 ( - )	188	千スウェーデンクローナ 3,290
	デンマーク	207	千デンマーククローネ 5,088	417	千デンマーククローネ 12,271
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	497	2,719	214	1,424
	フランス	3,115 ( 285)	4,848 ( - )	2,113 ( - )	3,004 ( 15)
	オランダ	390	1,034	351	577
	オーストリア	154	681	247	1,149
	フィンランド	379	535	315	446
	香港	24,080 ( - )	千香港ドル 19,516 (△ 120)	20,750	千香港ドル 15,948
	シンガポール	2,707	千シンガポールドル 144	2,512	千シンガポールドル 150
	フィリピン	653	千フィリピンペソ 2,008	25,549	千フィリピンペソ 24,768
	韓国	30	千ウォン 295,012	112	千ウォン 1,000,505
	オーストラリア	-	千豪ドル -	1,675	千豪ドル 170
	メキシコ	-	千メキシコペソ -	515	千メキシコペソ 1,704
	ブラジル	- ( 30)	千リアル - ( 13)	908 ( - )	千リアル 2,217 ( 13)

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外国	千円	百株	千千円ペソ	百株	千千円ペソ
		—	—	10,512	375,225

\*金額は受け渡し代金。

\*単位未満は切り捨て。

\*（ ）内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## ○株式売買比率

(2016年3月17日～2017年3月16日)

### 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	11,591,156千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	9,144,886千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.26

\* (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

(2016年3月17日～2017年3月16日)

### 利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人との取引状況 B	$\frac{B}{A}$	%	うち利害関係人との取引状況 D	$\frac{D}{C}$	%
株式	百万円 4,418	百万円 —	% —	百万円 7,173	百万円 82	% 1.1
為替直物取引	1,789	589	32.9	4,574	2,091	45.7
預金	1,081	1,081	100.0	1,172	1,172	100.0

### 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	6,652千円
うち利害関係人への支払額 (B)	71千円
(B) / (A)	1.1%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村證券株式会社、野村信託銀行です。

## ○組入資産の明細

(2017年3月16日現在)

## 国内株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末	
	株 数	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千円	
化学 (27.4%)				
積水化学工業	73	89.4	176,386	
ガラス・土石製品 (12.7%)				
TOTO	—	18	81,720	
非鉄金属 (6.8%)				
アサヒホールディングス	36	22.5	43,897	
金属製品 (6.1%)				
リンナイ	6.6	4.2	39,354	
機械 (38.0%)				
クボタ	55	51.7	92,336	
荏原製作所	262	29	101,790	
栗田工業	35.1	18.1	50,354	
電気機器 (9.0%)				
堀場製作所	24.4	9	57,600	
精密機器 (—%)				
島津製作所	33	—	—	
合 計	株 数 ・ 金 額	525	241	643,438
	銘柄 数 < 比 率 >	8	8	< 7.6% >

\*各銘柄の業種分類は、期首、期末の各時点での分類に基づいています。

\*銘柄欄の( )内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

\*評価額欄の&lt; &gt;内は、純資産総額に対する評価額の比率。

\*評価額の単位未満は切り捨て。

## 外国株式

銘柄	株数	株数	期末		業種等	
			評価額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円		
AGILENT TECHNOLOGIES INC	690	400	2,167	245,530	ライフサイエンス・ツール/サービス	
AMERICAN WATER WORKS CO INC	298	122	947	107,296	水道	
ANSYS INC	114	55	596	67,551	ソフトウェア	
AQUA AMERICA INC	384	100	318	36,086	水道	
CALGON CARBON CO	243	347	484	54,864	化学	
CALIFORNIA WATER SERVICE GRP	248	—	—	—	水道	
CINTAS CORP	—	101	1,209	137,042	商業サービス・用品	
CRANE CO	151	67	502	56,916	機械	
DANAHER CORP	475	428	3,750	424,870	ヘルスケア機器・用品	
FLOWSERVE CORP	162	127	599	67,934	機械	
FORTUNE BRANDS HOME & SECURITY INC	—	184	1,127	127,769	建設関連製品	
IDEX CORP	130	115	1,075	121,782	機械	
ITRON INC	—	8	48	5,523	電子装置・機器・部品	
MASCO CORP	307	330	1,136	128,793	建設関連製品	
MUELLER WATER PRODUCTS INC-A	749	—	—	—	機械	
PARKER HANNIFIN CORP	—	73	1,176	133,301	機械	
PERKINELMER INC	324	141	806	91,309	ライフサイエンス・ツール/サービス	
REPUBLIC SERVICES INC-CL A	302	212	1,352	153,170	商業サービス・用品	
ROPER TECHNOLOGIES INC	53	—	—	—	コンピュータソフト	
SJW CORP	48	—	—	—	水道	
SPX FLOW INC	298	—	—	—	機械	
SEALED AIR CORP	450	—	—	—	容器・包装	
SMITH (A.O.) CORP	447	338	1,752	198,552	建設関連製品	
TETRA TECH INC	414	190	761	86,243	商業サービス・用品	
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	297	206	3,329	377,134	ライフサイエンス・ツール/サービス	
TRIMBLE INC	541	167	532	60,334	電子装置・機器・部品	
VALMONT INDUSTRIES	—	95	1,467	166,231	建設・土木	
WASTE MANAGEMENT INC	268	202	1,492	169,036	商業サービス・用品	
WATERS CORP	218	130	2,071	234,693	ライフサイエンス・ツール/サービス	
XYLEM INC	964	526	2,556	289,544	機械	
CONSOLIDATED WATER CO-ORD SH	260	90	96	10,949	水道	
PENTAIR PLC	236	220	1,380	156,368	機械	
小計	株数・金額	9,082	4,986	32,740	3,708,834	
	銘柄数<比率>	27	26	—	<43.7%>	
(カナダ)				千カナダドル		
STANTEC INC	188	128	442	37,745	専門サービス	
小計	株数・金額	188	128	442	37,745	
	銘柄数<比率>	1	1	—	<0.4%>	
(イギリス)				千英ポンド		
HALMA PLC	764	543	527	73,424	電子装置・機器・部品	
WEIR GROUP PLC	949	—	—	—	機械	
INTERTEK GROUP PLC	205	—	—	—	専門サービス	
RENTOKIL INITIAL PLC	2,705	2,722	669	93,155	商業サービス・用品	
BERENDSEN PLC	778	932	776	108,022	商業サービス・用品	
AMIAD WATER SYSTEMS LTD	727	637	75	10,462	機械	
PENNON GROUP PLC	1,334	690	601	83,638	水道	
SEVERN TRENT PLC	513	454	1,072	149,188	水道	
UNITED UTILITIES GROUP PLC	1,326	1,121	1,102	153,456	水道	
TYRATECH INC-DI	8,045	8,045	17	2,378	化学	

銘柄	株数	当期		業種等		
		株数	評価額			
		外貨建金額	邦貨換算金額			
(イギリス)	百株	百株	千英ポンド	千円		
WOLSELEY PLC	—	210	1,084	150,874	商社・流通業	
IMI PLC	597	—	—	—	機械	
EXOVA GROUP PLC	1,441	1,121	245	34,144	専門サービス	
HOMESERVE PLC	745	564	297	41,344	商業サービス・用品	
小計	株数・金額	20,134	17,045	6,469	900,089	
	銘柄数<比率>	13	11	—	<10.6%>	
(スイス)			千スイスフラン			
FISCHER(GEORG)-REGISTERED	11	13	1,294	146,750	機械	
SGS SA-REG	9	4	870	98,659	専門サービス	
SULZER AG-REG	76	53	583	66,110	機械	
GEBERIT AG-REG	17	23	998	113,201	建設関連製品	
小計	株数・金額	115	95	3,746	424,721	
	銘柄数<比率>	4	4	—	<5.0%>	
(スウェーデン)			千スウェーデンクローナ			
INDUTRADE AB	46	—	—	—	商社・流通業	
AHLSELL AB	—	584	3,376	43,113	商社・流通業	
BRAVIDA HOLDING AB	—	560	3,410	43,555	商業サービス・用品	
小計	株数・金額	46	1,144	6,786	86,668	
	銘柄数<比率>	1	2	—	<1.0%>	
(デンマーク)			千デンマーククローネ			
NOVOZYMES A/S-B SHARES	334	123	3,324	54,388	化学	
小計	株数・金額	334	123	3,324	54,388	
	銘柄数<比率>	1	1	—	<0.6%>	
(ユーロ…ドイツ)			千ユーロ			
GEA GROUP AG	—	139	527	64,213	機械	
HENKEL AG & CO KGAA VORZUG	91	132	1,589	193,323	家庭用品	
NORMA GROUP SE	—	103	425	51,698	機械	
小計	株数・金額	91	374	2,542	309,235	
	銘柄数<比率>	1	3	—	<3.6%>	
(ユーロ…フランス)						
VEOLIA ENVIRONNEMENT	1,600	2,134	3,432	417,550	総合公益事業	
SUEZ	1,509	2,460	3,384	411,635	総合公益事業	
ELIS SA	483	285	497	60,479	商業サービス・用品	
小計	株数・金額	3,592	4,880	7,313	889,665	
	銘柄数<比率>	3	3	—	<10.5%>	
(ユーロ…オランダ)						
ARCADIS NV	211	—	—	—	建設・土木	
AALBERTS INDUSTRIES NV	—	250	876	106,608	機械	
小計	株数・金額	211	250	876	106,608	
	銘柄数<比率>	1	1	—	<1.3%>	
(ユーロ…オーストリア)						
ANDRITZ AG	262	169	834	101,474	機械	
小計	株数・金額	262	169	834	101,474	
	銘柄数<比率>	1	1	—	<1.2%>	
(ユーロ…フィンランド)						
UPONOR OYJ	—	208	335	40,785	建設関連製品	
VALMET CORP	429	284	430	52,342	機械	
小計	株数・金額	429	493	765	93,128	
	銘柄数<比率>	1	2	—	<1.1%>	
ユーロ計	株数・金額	4,587	6,169	12,332	1,500,112	
	銘柄数<比率>	7	10	—	<17.7%>	

銘柄	柄	期首(前期末)		当期		期末		業種等
		株数	株数	評価額				
				外貨建金額	邦貨換算金額			
(香港)		百株	百株	千香港ドル	千円			
CHINA EVERBRIGHT INTL LTD		7,660	10,150	11,144	162,601			商業サービス・用品
GUANGDONG INVESTMENT		10,590	14,350	15,641	228,209			水道
BEIJING ENTERPRISES WATER GR		15,190	12,390	6,888	100,508			水道
HAIER ELECTRONICS GROUP CO		3,870	3,750	5,767	84,147			家庭用耐久財
小計	株数・金額	37,310	40,640	39,442	575,466			
	銘柄数<比率>	4	4	—	<6.8%>			
(シンガポール)				千シンガポールドル				
CHINA EVERBRIGHT WATER LTD		10,732	11,401	524	42,349			水道
SIIC ENVIRONMENT HOLDINGS LTD		10,387	9,913	535	43,229			水道
小計	株数・金額	21,119	21,314	1,059	85,578			
	銘柄数<比率>	2	2	—	<1.0%>			
(フィリピン)				千フィリピンペソ				
MANILA WATER COMPANY		9,037	6,193	18,579	41,802			水道
METRO PACIFIC INVESTMENTS CO		45,954	23,902	15,942	35,870			各種金融サービス
小計	株数・金額	54,991	30,095	34,521	77,673			
	銘柄数<比率>	2	2	—	<0.9%>			
(韓国)				千ウォン				
COWAY CO LTD		169	87	769,113	77,218			家庭用耐久財
小計	株数・金額	169	87	769,113	77,218			
	銘柄数<比率>	1	1	—	<0.9%>			
(オーストラリア)				千豪ドル				
CARDNO LTD		3,597	1,921	218	18,991			建設・土木
小計	株数・金額	3,597	1,921	218	18,991			
	銘柄数<比率>	1	1	—	<0.2%>			
(メキシコ)				千メキシコペソ				
GRUPO ROTOPLAS SA DE CV		2,290	1,775	3,775	22,237			機械
小計	株数・金額	2,290	1,775	3,775	22,237			
	銘柄数<比率>	1	1	—	<0.3%>			
(ブラジル)				千リアル				
CIA SANEAMENTO MINAS GERAIS		878	—	—	—			水道
小計	株数・金額	878	—	—	—			
	銘柄数<比率>	1	—	—	<—%>			
(チリ)				千チリペソ				
AGUAS ANDINAS SA-A		10,512	—	—	—			水道
小計	株数・金額	10,512	—	—	—			
	銘柄数<比率>	1	—	—	<—%>			
合計	株数・金額	165,356	125,525	—	7,569,726			
	銘柄数<比率>	67	66	—	<89.1%>			

\* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

\* 邦貨換算金額欄の〈 〉内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

\* 株数・評価額の単位未満は切り捨て。

\* 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

## ○投資信託財産の構成

(2017年3月16日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	8,213,164	94.4
コール・ローン等、その他	486,808	5.6
投資信託財産総額	8,699,972	100.0

\*金額の単位未満は切り捨て。

\*当期末における外貨建て純資産（7,813,758千円）の投資信託財産総額（8,699,972千円）に対する比率は89.8%です。

\*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=113.28円、1カナダドル=85.24円、1英ポンド=139.13円、1スイスフラン=113.38円、1スウェーデンクローナ=12.77円、1デンマーククローネ=16.36円、1ユーロ=121.64円、1香港ドル=14.59円、1シンガポールドル=80.75円、1リンギ=25.56円、1フィリピンペソ=2.25円、1ウォン=0.1004円、1豪ドル=87.09円、1メキシコペソ=5.89円、1レアル=36.49円。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2017年3月16日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	8,702,932,115
コール・ローン等	328,884,492
株式(評価額)	8,213,164,894
未収入金	155,122,543
未収配当金	5,760,186
(B) 負債	208,145,715
未払金	24,345,471
未払解約金	183,800,000
未払利息	244
(C) 純資産総額(A-B)	8,494,786,400
元本	5,705,856,390
次期繰越損益金	2,788,930,010
(D) 受益権総口数	5,705,856,390口
1万口当たり基準価額(C/D)	14,888円

(注) 期首元本額は7,905,369,788円、期中追加設定元本額は316,376,544円、期中一部解約元本額は2,515,889,942円、1口当たり純資産額は1,4888円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額  
・野村アクア投資 Bコース 5,335,883,491円  
・野村アクア投資 Aコース 369,972,899円

## ○損益の状況 (2016年3月17日～2017年3月16日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	158,886,594
受取配当金	159,183,223
受取利息	73,376
支払利息	△ 370,005
(B) 有価証券売買損益	1,225,331,300
売買益	1,856,544,729
売買損	△ 631,213,429
(C) 保管費用等	△ 4,561,843
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,379,656,051
(E) 前期繰越損益金	2,205,460,561
(F) 追加信託差損益金	104,023,456
(G) 解約差損益金	△ 900,210,058
(H) 計(D+E+F+G)	2,788,930,010
次期繰越損益金(H)	2,788,930,010

\*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

\*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

\*損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## ○お知らせ

該当事項はございません。



### <お申し込み時の留意点>

販売会社の営業日であってもお申し込みの受付ができない日（以下「申込不可日」といいます。）があります。

お申し込みの際には、これらの申込不可日に該当する日をご確認のうえ、お申し込みいただきますようお願いいたします。

(2017年3月16日現在)

年 月	日
2017年3月	-
4月	14、17
5月	1、25
6月	5
7月	-
8月	1
9月	-
10月	-
11月	-
12月	25、26

※ 2017年12月までに該当する「申込不可日」を現時点で認識しうる情報をもとに作成しておりますが、諸事情等により突然変更される場合があります。

したがって、お申し込みにあたってはその点についても十分ご留意下さい。また、諸事情等による申込不可日の変更は、販売会社に連絡いたしますので、お問い合わせ下さい。

なお、弊社ホームページ (<http://www.nomura-am.co.jp/>) にも掲載いたしております。